

飛行機内火災？ - 西日本防災システム

2013 01 07

2013年1月7日アメリカ東部のボストン ローガン国際空港で午前10時半頃、日本から到着し駐機中だった日本航空の新型旅客機、ボーイング787内でぼやが発生しました。けが人などはなかったもようです。

バッテリーが過熱、発火した事が原因とみられています。米運輸安全委員会(NTSB)と連邦航空局(FAA)が詳しく調べているそうです。機体は、話題となった同型機の中でも昨年12月末に納入されたばかりのものでした。

同機は7日午前10時過ぎに成田空港から到着しました。乗客172人が降りた後、機内後方の電気室内にあるバッテリーから出火しているのが見つかりました。約1時間後、同空港の消防隊が火を完全に消し止めたそうです。

バッテリーはリチウムイオン電池を使ったもので、エンジン停止中に機体を動かすための補助動力装置用だそうです。

ボーイング社によりますと、同型機で同装置のバッテリーから出火するトラブルは初めてのことだそうです。ですが、ユナイテッド航空の同型機では先月、電気関連の故障があったようです。駐機中で良かったですね！

やはりわたくしは飛行機が嫌いです！



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

